



第1部 計画策定の意義と計画の性格

・計画の意義、計画の位置付け、計画の対象区域、計画期間

【注意事項】

- ・本資料は現行計画の構成を元に骨子検討のために参考として作成したものです。
- ・構成や内容は、今後の骨子の検討状況を踏まえ、適宜見直しを図ります。
- ・本資料の赤字は、現行計画からの変更内容を示しています。

第2部 四国圏の発展に向けた基本方針

第1章 四国圏を取り巻く状況

第1節 社会の潮流

- ①急激な人口減少・少子高齢化の進行
- ②巨大な自然災害リスク
- ③インフラ老朽化の進展
- ④カーボンニュートラルの実現
- ⑤地方の暮らしに不可欠な諸機能の確保
- ⑥国際競争力の向上
- ⑦エネルギーや食料の安定供給
- ⑧デジタル化の進展
- ⑨新型コロナウイルス感染症に伴う新しい生活様式の加速
- ⑩スーパー・メガリージョンの形成

第2節 四国圏の現状と課題

1. 四国圏の概要

【強み】

- ①美しい自然風景、独自の歴史・文化の存在
- ②多様な地域の存在と相互の地理的な近さ・交流の可能性
- ③確かな力ある企業存在
- ④個性のある一次産業、食等の存在
- ⑤人材育成活動の活発化
- ⑥豊かな暮らしを支える環境
- ⑦多様な働き方・暮らし方

【弱み】

- ①厳しい地勢・巨大地震や気候変動による自然災害のリスク
- ②産業・企業集積の不十分さ、高い物流コストや中小企業ウエイト
- ③社会経済面・生活利便性面の格差
- ④不十分なインフラの整備と既存インフラの老朽化
- ⑤四国圏内外との連携・交流の弱さ
- ⑥人口減少・少子高齢化の進展
- ⑦地域間の情報格差

2. 安定した社会を支える安全・安心な四国圏の創出

①南海トラフ地震に対する安全・安心の確保

- ・社会インフラの地震・津波対策による被害の最小化
- ・発災時に速やかな避難や救援活動、復旧・復興を実現するための体制構築
- ・防災訓練や防災学習など防災力の向上
- ・広域災害時における圏域内外との連携強化

②近年の気候変動により激甚化・頻発化する風水害への備え

- ・激甚化・頻発化する水害や土砂災害、高潮等の対策
- ・瀬戸内海側など全国有数の少雨地帯における渇水対策

③急速に老朽化する社会インフラのメンテナンス

- ・急速に進む河川、ダム、砂防、海岸、道路、上下水道、港湾、空港など社会インフラの老朽化対策
- ・社会インフラの持続可能なメンテナンス体制の構築
- ・社会インフラの事後保全から予防保全への転換

3. 自立的・持続的発展に向けた四国圏の地方創生

④少子化対策及び若者・女性の流出対策の強化

- ・少子化対策
- ・若者、女性の他圏域への流出対策
- ・大都市圏と遜色のない魅力ある仕事の創出

⑤女性・高齢者・障がい者の社会参画等

- ・女性が活躍できる社会づくりの促進
- ・健康寿命が延び、元気に活躍する場を求める高齢者の増大、高齢者の力を発揮する場の創出
- ・障がい者や外国人居住者が活躍できる場の確保
- ・次世代の地域を担うリーダー、組織の育成

⑥地域産業の競争力強化

- ・全国に先駆けて進行する人口減少や高齢化を起因とする域内の経済規模縮小の懸念
- ・幅広い産業の裾野を有するリーディング産業の集積が少ない
- ・経営基盤が脆弱とされる中小企業の従業者数のウエイトが高い
- ・全国と比べて高い人口割合を有する第1次産業の強化

⑦持続可能な地域づくり

- ・人口減少下における地方の暮らしに不可欠な諸機能の維持・確保
- ・中山間地域、半島部、島しょ部における過疎化の深刻化
- ・空き家、耕作放棄地の増加に伴う国土の荒廃

⑧四国圏の魅力・豊富な地域資源を活かした観光活性化

- ・自然風景、歴史・文化、個性ある食など地域資源の活用
- ・国内外への四国の魅力発信
- ・インバウンド需要の取り込み
- ・アフターコロナを見据えた新たな観光需要の取り込み

⑨圏域内外との交流を促進し対流を促す結びつきの強化

- ・圏域内外の交流を支える交通・情報ネットワークの強化
- ・関係人口の拡大・深化など圏域内外での人的交流の促進
- ・スーパー・メガリージョンの形成効果の広域的拡大

⑩自然環境の保全及びカーボンニュートラルの実現

- ・森林資源の保全
- ・海洋資源の保全
- ・カーボンニュートラルの実現に向けた円滑な産業構造の転換

第2部 四国圏の発展に向けた基本方針

第2章 四国圏の将来像

第1節 基本方針

■キャッチフレーズ

(現行計画) ~圏域を越えた対流で世界へ発信~ 「癒やし」と「輝き」で未来へ

基本方針の考え方

現行計画の考え方

- ・各地に多種多様な地域資源が存在
- ・「癒し」や「お接待」、「おもてなし」のお遍路文化の存在
- ・地域資源を活かした連携交流の存在
- ・ICTを活用した先進的な取り組みの存在
- ・高機能素材やニッチトップ企業などのポテンシャルの存在
- ・独自の地域資源や取り組みを活かした「四国内の人々が住み続けたい。」「四国外の人々が行ってみたい。住んでみたい。」と思える四国の創出
- ・地域相互の連携によって対流を生み出し、地域の活力向上、イノベーションの創出



国土づくりの基本戦略

- ①民の力を最大限発揮する官民共創 (新しい資本主義の体現)
- ②デジタルの徹底活用 (デジタル田園都市国家構想の実現)
- ③生活者・事業者の利便の最適化
- ④分野の垣根を越えること (横串の発想)



四国圏の基本戦略

- ①弱みを強みに変える
- ②多様性を活かし、連携による総合力を発揮
- ③多能な人材と多機能な施設
- ④サステナブルなほどよい規模・密度

第2節 四国圏の発展に向けた目標

①南海トラフ地震への対応力の強化等、安全で安心して暮らせる四国	②若者が増え、女性・高齢者等が生き生きと活躍する四国	③地域に根ざした産業が集積し、競争力を発揮する四国	④中山間地域・半島部・島しょ部等や都市間が補完しあい活力あふれる四国	⑤歴史・文化、風土を活かした個性ある地域づくりを進め、人をひきつける四国	⑥自然環境の保全・カーボンニュートラルの実現(仮称)
1) 南海トラフ地震対策	1) 若者の希望実現、 人口流出対策	1) 地域資源や技術を活かした産業競争力強化	1) デジタル活用 による農山漁村の活性化	1) 地域資源を活かした地域の魅力向上と国内外への魅力発信	1) 森林環境の保全
2) 台風・豪雨等の自然災害への備え	2) 女性活躍の促進	2) 四国の技術力・特産品による新市場の開拓	2) 持続可能な地域生活圏の実現	2) 歴史・文化、自然風景の継承と地域独自の風景づくり	2) 海洋資源の保全
3) インフラ老朽化対策	3) 高齢者・障がい者・外国人の社会参画の促進	3) 産業を担う人材の育成・確保	3) 農山漁村の基幹産業強化、雇用創出	3) 圏域内外、国外との連携・交流の促進による観光活性化	3) カーボンニュートラル実現に向けた取組の推進
	4) 暮らしの快適性を高める共助社会づくりの促進	4) 産業基盤を支えるインフラ整備の推進			



目指す国土の姿(国土づくりの目標) ※国土審議会計画部会

○デジタルとリアルの融合による活力ある国土づくり

- ・ローカルの視点(地方創生×デジタル)
- ・グローバルの視点(国際競争力の強化)

○巨大災害、気候危機、緊迫化する国際情勢に対応する安全・安心な国土づくり

- ・巨大災害から国民の命と暮らしを守る防災・減災、国土強靱化
- ・気候変動対策の主流化
- ・緊迫する国際情勢への対応

○世界に誇る多彩な自然と文化を育むグリーンな国土づくり

- ・自然資本の保全・拡大を通じた自然と共生する地域づくり
- ・地域の自然、文化の魅力を活かした観光立国の復活

今回「議論頂きたい事項」



第3部 四国圏の発展に向けた取組

【注意事項】

- ・本資料は現行計画の構成を元に骨子検討のために参考として作成したものです。
- ・構成や内容は、今後の骨子の検討状況を踏まえ、適宜見直しを図ります。
- ・本資料の赤字は、現行計画からの変更内容を示しています。

<p>①南海トラフ地震への対応力の強化等、安全で安心して暮らせる四国</p> <p>1) 南海トラフ地震対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南海トラフ地震等大規模災害への備えの強化 ・事前防災・災害時のネットワークの強化 ・広域的な応援体制の構築及び災害対応体制の強化 ・事前復興を見据えた災害に強いまちづくりの推進 <p>2) 台風・豪雨等の自然災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害への備えの強化 ・森林、河川流域の適切な整備・保全と水資源の確保 ・流域治水の推進 <p>3) インフラ老朽化対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トータルライフサイクルコストの最適化のための戦略的な計画策定・見直し ・予防保全型インフラメンテナンスの実践 ・インフラ維持管理の担い手育成と一般向け情報発信 	<p>②若者が増え、女性・高齢者等が生き生きと活躍する四国</p> <p>1) 若者の希望実現、人口流出対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル活用により若者が希望を持って働き、生活できる地域づくりの推進 ・四国圏への郷土愛の醸成につながる取組の推進 ・大学等の機能強化・魅力向上と雇用のマッチング支援 ・若者と地元企業を有効に結びつけるための就職支援 <p>2) 女性活躍の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DX推進による女性の就労環境の充実 ・女性活躍を後押しするまちづくりや子育て支援の充実 <p>3) 高齢者・障がい者・外国人の社会参画の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気な高齢者の社会参画による地域コミュニティの活性化 ・障がい者の雇用促進、就労支援及び相談支援体制の充実 ・外国人の雇用促進、就労支援及び相談支援体制の充実 <p>4) 暮らしの快適性を高める共助社会づくりの促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心で健康的な生活が確保できる生活環境づくり ・コンパクト+ネットワークによる持続可能な地域づくり ・スマートシティの取組推進 ・地域の次世代のリーダーとなる担い手の育成と、NPOなど多様な主体が活躍する共助社会づくり 	<p>③地域に根ざした産業が集積し、競争力を発揮する四国</p> <p>1) 地域資源や技術を活かした産業競争力強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバルな競争にも勝ち抜ける力強いものづくり産業を再興 ・四国圏の持続的な成長の糧となる新たな産業の創出やスタートアップ等を促進 ・産学官連携等によりイノベーションを促進 ・付加価値を高め、職業として魅力を感じる農林水産業を確立 ・シェアリングエコノミーによる新たなビジネスの推進 <p>2) 四国の技術力・特産品による新市場の開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりの高い技術力等を国内・海外に売り込む ・多くの人々を惹きつける四国産品や観光資源を国内外に売り込む ・成長著しい海外の活力を積極的に取り込む <p>3) 産業を担う人材の育成・確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びの場を創り出し、四国圏の産業の成長を支える多様な人材を育成 ・四国圏の活力となる人材の誘致 ・副業・兼業の促進など多様・多能な人材の活躍の支援 ・産業人材の育成に資する大学等の充実強化 ・建設業の中長期的な担い手確保 ・DX人材の育成・誘致 <p>4) 産業基盤を支えるインフラ整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業の基盤を支えるインフラ整備を推進 ・インフラ機能の強化・高度化及び多機能化の推進 	<p>④中山間地域・半島部・島しょ部等や都市間が補完しあい活力あふれる四国</p> <p>1) デジタル活用による農山漁村の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル活用による農山漁村の生活環境整備の推進 ・安心で暮らしやすく、健康的な生活が確保できる農山漁村の形成 ・大都市圏との交流促進による農山漁村の活性化 <p>2) 持続可能な地域生活圏の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域間をネットワークで結び、都市間の連携を図る ・四国圏における地域生活圏の実現 ・「小さな拠点」を核とし、中山間地域・半島部・島しょ部等の維持・活性化を図るための仕組みづくりの推進 ・デジタルや新技術の活用による交通手段の確保・維持 <p>3) 農山漁村の基幹産業強化、雇用創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農山漁村の基幹産業である農林水産業を強化し成長産業化 ・農林水産業の高付加価値化、雇用創出、農山漁村活性化の好循環の形成 ・公共建築物の木造化等による新たな木材需要の創出 ・需要者ニーズに対応した国産材の安定供給体制の構築 ・農林水産業に対する野生鳥獣被害対策の推進 	<p>⑤歴史・文化、風土を活かした個性ある地域づくりを進め、人をひきつける四国</p> <p>1) 四国の魅力向上と国内外への魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一次産品を用いた四国ブランドの育成など、地域資源の魅力を向上 ・地域の魅力を積極的に国内外へ発信 ・「新しい生活様式」に対応した観光 <p>2) 歴史・文化、自然風景の次世代への継承</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四国遍路をはじめ、四国圏独自の文化を保全・継承する人材及び地域おこしの人材育成 ・美しい自然を舞台とした地域独自の風景づくり <p>3) 圏域内外、国外との連携・交流の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力向上と相互連携の強化により圏域内外の交流を促進 ・広域交通ネットワーク（道路・高速鉄道）の整備・強化による、圏域内外の連携・交流の促進 ・四国の港湾・空港の国際ゲートウェイ機能強化による国外との交流促進 ・広域観光周遊ルートの設定や受入環境の整備によるインバウンド観光の促進 	<p>⑥自然環境の保全・カーボンニュートラルの実現（仮称）</p> <p>1) 森林環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・失われつつある自然の保全と共生によるエコロジカルネットワークの形成 ・持続可能な社会づくりの担い手を育む教育の推進 <p>2) 海洋資源の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋ごみ対策の推進 ・四国を取り巻く海域の水環境と生態系の保全 <p>3) カーボンニュートラル実現に向けた取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林資源を活用したバイオマス発電等、地域のエネルギー需給の最適化 ・再生可能エネルギーの導入促進 ・カーボンニュートラルに向けた新たな産業創出・誘致の促進 ・GXを担う人材育成など取組の推進
---	---	---	--	--	---

第4部 広域プロジェクト

広域連携プロジェクト（現行計画）

No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト	No.2 お遍路の癒やしや四国の文化を受け継ぐ「支国」伝統継承プロジェクト	No.3 美しい自然とおもてなしの心による「支国」観光活性化プロジェクト	No.4 全国に先駆けて進行する人口減少への「支国」支援対策プロジェクト	No.5 地域の自立的・持続的発展に向けた「支国」産業競争力強化プロジェクト
---	---------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--

第5部 計画の推進に向けて

第1章 他圏域との連携（現行計画）

- ・広域観光・インバウンド観光の促進
- ・産業集積地間の連携等による国際競争力強化
- ・暮らしの安全・安心と防災ネットワークの整備
- ・豊かな瀬戸内海等の環境保全と再生
- ・課題を共有した人材育成、地域づくり等の推進

第2章 計画の進行管理（現行計画）

- ・計画の推進体制
- ・計画の進捗管理